

全国統一要求書にもとづき札幌市と交渉 学童保育・公契約・建設労働者の賃金・ アスベスト対策などでやりとり

7月25日、「建交労2024年春闘全国統一要求書」にもとづいて札幌市・道庁との交渉をおこないました。要求書への文書回答は事前に受け取っており、この日の重点項目にしばった交渉には道本部執行部など10人が参加しました。(道庁との交渉内容については次号でお知らせします)

札幌市との交渉では、はじめに「放課後児童クラブの国庫補助および各種制度の活用について」やりとりしました。政府が新たに設けた「支援員を複数配置した場合の補助金」について、第3回定例議会での補正予算を検討しているという説明でしたが、「民間学童保育を対象と考えているが4月に遡及することは難しい」「児童会館(公設民営)については指定管理者制度の関係で対象にならない」などとなりました。引き続き札幌学童保育支部として交渉します。

このほか、「公契約条例の制定など適正な賃金・労働条件の確保」「建設労働者の賃金・労働条件の改善」「じん肺・アスベスト被害の防止と補償の拡充」について交渉しました。建物の清掃・警備などの契約については「複数年契約において、賃金水準の上昇に応じて契約代金の変更を可能とするスライド制度を試行導入しており、受注者との話し合いで対応している」と回答しました。工事契約での賃金実態調査については「対象工事は5件程度だ。積算労務単価との乖離があるが、改善を求める法的な根拠がない」との回答で、対象工事をもっと広げるよう求めるとともに「だからこそ公契約条例が必要だ」と迫りました。アスベストアナライザーの活用状況については、昨年度の実績は66件だった」ことを明らかにしました。

全国労災職業病部会が第26回総会

全国労災職業病部会は7月23~24日に東京で第26回総会を開きました。総会には全国から代議員など52人が参加し、各組織が「健康相談会」を中心に組織拡大にとりくんでいる報告などがありました。また、各地で組合員による紹介運動をつよめることを決めました。

総会で選出された新年度役員では、北海道から道本部の森国委員長が副部会長に、旭川支部の須貝さんが幹事に再選され、函館支部の宝福さんが新しく幹事になりました。

北海道鉄道本部が「パークゴルフ交流会」

北海道鉄道本部は7月8日に恒例の「パークゴルフ交流会」を三笠市サンパークゴルフ場で20名の参加でおこないました。この日は札幌合同支部の楢山さんと札幌学童保育支部の木村さんがゲスト参加しました。小雨が降るあいにくの天候でスタートし、前半は水しぶきが上がるコースもありましたが、後半は天気も回復し汗ばむほどの気温になりました。優勝は苗穂支部の最上暢さん、準優勝は同じく苗穂支部の佐藤英明さん、三位には滝川支部の佐藤勝磨さんが続き、ブービー賞は岩見沢支部の高橋勲さんが受け取りました。クラブを一番多く振った猛打賞や月日を絡めた数字のラッキー賞をたくさん用意し、成績には関係なく順位による数字で景品が贈られました。このコースではホールインワンが毎回でるのですが、コースコンディションの影響なのか今回は一人もおらず準備していた景品はラッキー賞に回りました。プレー終了後には隣接する「太古の湯」で汗を流し、昼食をとって交流し楽しい一日を過ごしました。